

GELCHOPの



レッツD.I.Y.

月イチでD.I.Y.なものづくり。

小刻みに震えるエマ。

Product_name

ERO Speaker

Material

- ・女体の絵画
- ・パネル
- ・額縁
- ・中古スピーカー
- ・配線コード

How to make

1 まずは、お気に入りのSEXYな絵画探し。使用した絵は、例のごとくヤフオクの人物画1万点から厳選した一品。タイトル「艶かしい肉体のエマ」作者不明。

2 今回購入した絵は、額縁もパネル張りもなかったので、まずはパネル作りから。スピーカーの音にも影響するので材料はお好みだが、今回ベースになる板には合板を使用。エマの振動を重視する場合は、素材、スピーカーの組み合わせを色々と実験してみるのも面白い。キャンバスの張り方、額縁の作り方はここでは割愛。

3 続いてスピーカー探し。こちらは『ハードオフ』のジャンク品。センターキャップの陥没チェックも忘れずに。陥没しているものが好みなら、それはそれで……。絵の肌色にハマる色を選ぶのも重要なポイント。解体してツイーター、ウーハーだけを抽出。

4 絵のどこにスピーカーを取り付けるか、それは自由。今回は、いい音の出そうところやバイブレーションを与えたい部分にレイアウト。エマのちよめちよめな場所に下書きし、カッターやジグソーを使い、穴を開け、スピーカーをはめ込みネジで固定。裏面で結線しアンプに接続する。

5 いよいよサウンドチェック。エマからいい音が出れば完成。壁に取り付け、エマにお似合いの音楽を探したり激しく震える音を探したり、思う存分楽しもう。



4.“見えない”ほうがエロく見えるんだよね。

4.その瞬間、変な気持ちが生えちゃう。



エロスピーカー 風景画で作った照明器具“Landscape Light”に続く、絵画シリーズ第2弾。近頃、お洒落なモノばかり増えて、いやらしいモノの影が薄いと感じるのは私だけでしょうか。子供の頃、友人のアニキの部屋には、大人の威厳であるがごとく「PLAYBOY」、エッチなボールペン、喫煙具、レコードのジャケットなど、何だかちょっとエッチなモノが堂々と部屋にごろついていたもの。男はスケベでよいのだ。エロスとは想像力、堂々といやらしいことを楽しもう。ところでこのスピーカー、激しい重低音を鳴らすとエマが小刻みに震えます。

はみだしのDIY

昭和40年代、ようやくカラーテレビが出回りはじめた頃に生まれた世代の性の教科書は、やはりエロ本。アニキのいる友人の家は、そりゃもうワンダーランドなわけで、山積みのエロ本、宮崎美子にアグネス・ラムのムチムチの水着ポスター、〇〇コのライターに××コの灰皿……悶々とした気分を静めるがごとく、学校をサボって山積みエロ本から女体を切り抜き、天井も壁も部屋一面を肌色に埋め尽くしたのを思い出す。埋め尽くすまで数日かけた、あの根性は一体なんだったのだろう……。性の目覚め、いやDIYスピリットの目覚め、に違いない。

ゲルチョップ | D.I.Y.造形グループ。モリカワリョウタ、オザワテツヤ、タカハシリョウヘイがメンバー。篠山より〜普通に〜佐伯が好き〜！ 疲れた体に活を入れるために佐伯俊男先生の画集を新たに購入。